

茨城県におけるヤマククルマバナ（シソ科）の新産地について

栗原 孝*・成島 明**・小幡和男***

(2017年11月8日受理)

New Habitats of *Clinopodium chinense* (Benth.) Kuntze var. *shibetchense* (H.Lév.) Koidz. (Lamiaceae) in Ibaraki Prefecture

Takashi KURIHARA*, Akira NARUSHIMA** and Kazuo OBATA***

(Accepted November 8, 2017)

Key words: *Clinopodium chinense* var. *shibetchense*, new habitats, Ibaraki Prefecture.

ヤマククルマバナ *Clinopodium chinense* (Benth.) Kuntze var. *shibetchense* (H.Lév.) Koidz. は北海道・本州・四国・九州・朝鮮・中国に分布するシソ科トウバナ属の多年草で、全体やや軟弱で茎は斜上し、萼は通常紫色を帯びることなく開出毛が多く、時に短腺毛がある。花は白色で淡紅紫色を帯び長さ6~7 mmである。姿はイヌトウバナ *C. micranthum* (Regel) H. Hara var. *micranthum* に似るが、長い線形小苞があることがイヌトウバナと異なる(北村・田村, 1957)(図1)。またヤマククルマバナの標本は、北海道、東北地方全県、茨城県を除く関東地方全県、新潟県、愛知県を除く中部地方全県、近畿地方全県、中国(岡山県、広島県、鳥取県)、四国(高知県、徳島県)、九州(宮崎県、熊本県)から記録されている(木村・岩槻, 2010; 国立科学博物館, 2017)。

茨城県では、これまで、ヤマククルマバナの記録がなかったが、2015年から2017年までに北部地域を中心に著者らが実施した調査において、那珂川流域1地点、久慈川流域13地点と堂平国有林1地点の15地点でヤマククルマバナの生育を確認した。

一方、ミュージアムパーク茨城県自然博物館にイヌトウバナとして収蔵されている標本中に、ヤマククルマ

バナを8点見いだした。それらの標本は、坂東市矢作利根川芽吹大橋、古河市観音寺町渡良瀬川、桜川市筑波山、桜川市真壁町の4地点で採集されたものであった。これらの結果から、この19地点を茨城県におけるヤマククルマバナの新産地とした(表1, 図2)。



図1. ヤマククルマバナ(左, INM-2-98118)とイヌトウバナ(右, INM-2-5698)の比較。ヤマククルマバナには長い線形小苞がある。

Fig. 1. Comparison of *Clinopodium chinense* var. *shibetchense* (Left, INM-2-98118) and *C. micranthum* var. *micranthum* (Right, INM-2-5698). *C. chinense* var. *shibetchense* has long linear bracts.

* 自宅 〒300-4111 茨城県土浦市大畑 1510-154 (1510-154 Obatake, Tsuchiura, Ibaraki 300-4111, Japan).

** 自宅 〒305-0813 茨城県つくば市下平塚 332 (332 Shimohiratsuka, Tsukuba, Ibaraki 305-0813, Japan).

** ミュージアムパーク茨城県自然博物館 〒306-0622 茨城県坂東市大崎 700 (Ibaraki Nature Museum, 700 Osaki, Bando, Ibaraki 306-0622, Japan).

表 1. 茨城県におけるヤマククルマバナの標本リスト (採取地名中の河川名は, その河川の流域であることを示す).

Table 1. List of specimens of *Clinopodium chinense* var. *shibetchense* collected in Ibaraki Prefecture.

No.	採集地	採集者	採集年月日 (標本番号)
1	坂東市矢作・利根川	鈴木昌友・成島明・丸山友一	2007.07.21 (INM-2-61653, INM-2-61654)
2	古河市観音寺町・渡良瀬川	成島明	1993.09.13 (INM-2-20233, INM-2-20234, INM-2-20235)
3	桜川市・筑波山	茂垣はるえ	2007.09.17 (INM-2-62967, INM-2-62968)
4	桜川市真壁町長岡	鈴木昌友・成島明・丸山友一	1999.08.29 (INM-2-18295)
5	常陸大宮市野口・那珂川	成島明・丸山友一	2015.06.01 (INM-2-93718)
6	那珂郡東海村亀下・久慈川	栗原孝	2015.07.25 (INM-2-98108)
7	日立市上土木内町・久慈川	栗原孝	2015.11.08 (INM-2-98114)
8	常陸太田市小島町・久慈川	栗原孝	2015.11.29 (INM-2-98115)
9	那珂市瓜連・久慈川	栗原孝	2015.08.22 (INM-2-98109)
10	常陸大宮市富岡・久慈川	栗原孝	2017.07.16 (INM-2-98122)
11	常陸大宮市下町・久慈川	栗原孝	2017.07.22 (INM-2-98123)
12	常陸大宮市辰ノ口・久慈川	栗原孝	2016.07.10 (INM-2-98117)
13	常陸大宮市小貫・久慈川	栗原孝	2015.08.30 (INM-2-98110)
14	常陸大宮市舟生・久慈川	栗原孝	2015.09.05 (INM-2-98111)
15	常陸大宮市家和楽・久慈川	栗原孝	2016.08.13 (INM-2-98120)
16	久慈郡大子町盛金・久慈川	栗原孝	2016.07.17 (INM-2-98118)
17	久慈郡大子町袋田・久慈川	栗原孝	2015.10.10 (INM-2-98112), 2016.07.17 (INM-2-98119)
18	久慈郡大子町北田気・久慈川	栗原孝	2015.10.10 (INM-2-98113)
19	常陸太田市高貫・堂平国有林	栗原孝	2015.12.12 (INM-2-98116), 2016.08.14 (INM-2-98121)

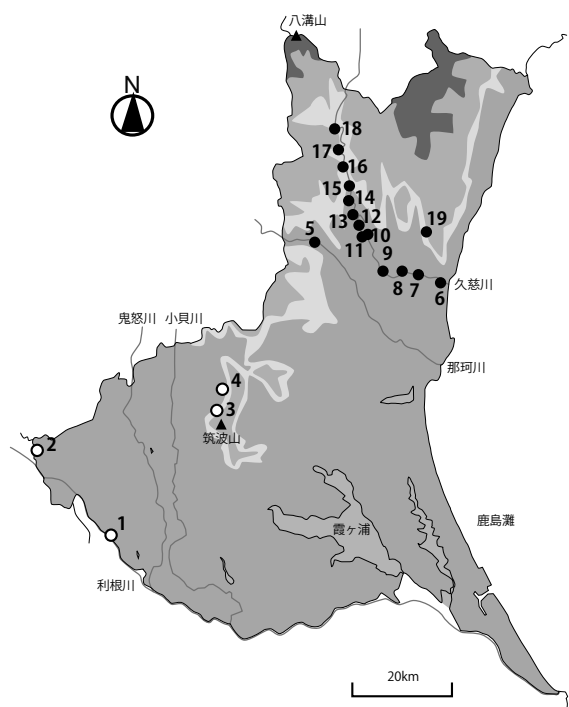


図 2. 茨城県におけるヤマククルマバナの分布. ●: 現地調査で確認, ○: 茨城県自然博物館収蔵標本調査で確認.

Fig. 2. Distribution map of *Clinopodium chinense* var. *shibetchense* in Ibaraki Prefecture.

●: Confirmed by field survey; ○: Confirmed by Ibaraki Nature Museum specimen collection survey.

今回茨城県内で確認したヤマククルマバナの分布を見ると, その範囲は比較的広く, 関東地方や東北地方の全県で確認されていることを考慮すると, ヤマククルマバナは茨城県には古くから自生していながら, イストウバナと間違えられてきたため, その存在が認識されなかったものと考えられた.

今回の現地調査は, 久慈川流域を中心とする茨城県北部地域のみであり, 今後茨城県全域のヤマククルマバナの分布については, 再調査が必要である.

本研究を進めるにあたって, 宮本卓也氏をはじめミュージアムパーク茨城県自然博物館植物研究室の方々には標本の調査・データベースの整理など多大なる協力を得た. ここに深く感謝の意を表する.

引用文献

- 北村四郎・田村 源. 1961. 原色日本植物図鑑・草本編Ⅱ. pp. 290, 保育社.
- 木村陽子・岩槻秀明. 2010. ヤマククルマバナが千葉県に出現. 千葉県植物誌資料, 26: 259-261.
- 国立科学博物館. 2017. Science Museum Net (S-Net). <http://science-net.kahaku.go.jp/> (2017年8月15日閲覧).

(キーワード): ヤマククルマバナ, 新産地, 茨城県.